Navigation

Previous 月
Next 月
Today
Archives
Admin Area

Categories

All
General

灰皿町の本

●幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造

●「週刊読書人」詩時評 一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第一分冊

Search

検索キーワード

検索

Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2005-05-31

多摩美映像演劇学科ＦＴ前期発表会エントリー。

30日の朝、トイレで読んだ「墨子」は、第３篇「七患」に入った。敵に備えないで宮廷を造るとか、家臣にちゃんと報酬を与えないとか、自分は聖王だと威張るとか、王国が滅びる原因になる王侯の七つの過ちが書いてあった。ここまで読んできて、「墨子」って王様の教科書だと思えてきた。ストレッチ体操、シャワー。雨の中、庭に出て牡丹の葉に出来た水玉を撮る。それをBlosxomBlogに入れる。ちょっと「脳とクオリア」を読んだところで、麻理がきつね蕎麦を作って昼食。ちょっと仮眠。新聞に出ていた「テクノラティ」で「鈴木志郎康」のキーワードでblogを検索する。4件ヒットした。「都立大（首大）での福間・瀬尾両氏の主催の『詩の自主講座』で『口辺筋肉感覚説による抒情的作品抄』を朗読に使った」なんてことが書かれていた。3時に雨の中、スニーカーでは濡れてしまうと思って、4、5年前に買った茶色の革靴を履いて出掛けて、二子玉川で下りてカツサンドを買ってタクシーで多摩美上野毛キャンパスへ。5時前に4年の斉藤瞳さんが来て卒制の話し。それから、丁度来た海老塚さんとカツサンドを食べる。6時に201教室で、Ｂコースの学生の作品発表会エントリー用紙に担当の教員としてサインしたり、企画の内容で指導したりする。8時近く研究室に戻って、更にサインと指導。9時廻った頃、卒業生の明仁絵里子さんが来て、天沢退二郎さんのテレビ番組を作ることになって、70年闘争時代の彼の結婚式の時の写真や8ミリフィルムを持ていませんかということなどの話し。探して置くと応える。10時半近く下校。三茶までハイヒールの踵を折ってしまった松岡由利子さんと澁谷まで山内菜緒さんと一緒。帰宅してリンゴ、豆大福、サツマイモ、煎餅。仕事場に下りて、明仁さんが言っていた写真と8ミリを探す。直ぐに見つかって、写真はデジカメで撮って見本としてメールで送る。それから、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:45:14 - **shirouyasu** - **3 comments**

2005-05-30

茂木健一郎著「脳とクオリア」を読む。

29日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、「所染」の後半で「人は染まりやすい」というテーマになって、不断付き合う人を選ぶことが大切ということが書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。仕事場に下りて日録をノートして、ドクダミの花の写真を昨日買ってきたリーダーで取り込んでBlosxomBlogに入れる。それから、「灰皿町blog日記」を書いた。ジャガイモと枝豆を茹でて、ジャガイモにバターをつけて昼食。仮眠。パルケに行って、刺身とパンと夏蜜柑とアスパラガスと豆大福を買ってくる。井の頭通りとの交差点で写真家の鈴木秀ヲさんにばったり会う。ちょっと立ち話。帰って、アスパラガスを先日見た「ためしてがってん」流に、煮立ったお湯にアブラをちょっと入れて、根元の方を30秒、それから全体お湯に浸して1分で茹でてみる。なるほど甘く茹でることができた。仕事場に下りて、茂木健一郎著「脳とクオリア」を読む。第2章を読んで、豆腐のみそ汁を作り、カボチャの煮付けを煮付けを温めて、買ってきた刺身とで一人で夕食。寝室に行って横になって「義経」とNスペでバブル経済崩壊の銀行マンのドキュメントを見る。仕事場に下りて、「脳とクオリア」を読む。第3章を読み終える。「認識」ということを「ニューロンの発火」から突き止めていこうという論文が議論調の文章で書かれている。《認識のニューロン原理＝私たちの認識は、脳の中のニューロンの発火によって直接生じる。認識に関する限り、発火していないニューロンは、存在していないのと同じである。私たちの認識の特性は、脳の中のニューロンの発火の特性によって、そしてそれによってのみ説明されなければならない。》《認識に於け

るマッハの原理＝認識において、あるニューロンの発火が果たす役割は、そのニューロンと同じ瞬間に発火している他のすべてのニューロンのとの関係によって、またそれによってのみ決定される。ニューロンは、他のニューロンとの関係においてのみある役割を持つのであって、単独で存在するニューロンには意味がない。》という二つの原理によって展開されている。Webで「鈴木志郎康」を検索して、2、3のblogで触れられているのを読む。それから、リンゴ、大福、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:14:31 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-29

小指値第２回公演「**My Name Is I Love You**」の**4**回目を見る。

28日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、「所染」という編で墨子が糸が染料に染まるのを見て、人も同じで、王侯は家臣の色に染まるから、家臣を選ぶことが大切だと、成功した王と失敗した王の例を挙げて書かれていた。ストレッチ体操はせずに、９時半前に家を出て、地下鉄の表参道で下りてイメージフォーラム付属映像研究所へ。10時から村山匡一郎さん、澤隆志さんとAコースの課題講評。12時45分に終わって、富山さんとタクシーで原宿に行ってドキュメンタリー映画監督の人と連れの女性と歓談しながら昼食。2時過ぎ地下鉄で帰宅。ちょっと仮眠。茂木健一郎著「脳とクオリア」を読む。咲き始めた庭のドクダミの花をCybershot DSC-M1で撮ってBlosxomBlogに入れようとしたら、PowerBookG4に接続したMemory Stick Duoのカードリーダーが読み取らない。どうも、接点の接触がおかしくなっているらしい。6時になって、カレーの残りに牛乳を入れて温めて麻理と早めの夕食。6時半に家を出て小田急で新宿へ。サクラヤでカードリーダーとカードを買って、JRで中野へ。サンモールを抜け、ブロードウエイの「Fuji-ya」でクリーム菓子をを買おうとしたら、食べるまでにどれくらいの時間ですか、と聞かれ、芝居が終わって片づけが済むのは10時頃と言ったら、それでは売れませんという、なぜ？と聞くとクリームが溶けてしまうからだという、冷蔵庫に入れるからとか言って売って貰った。studio SAIへ行き、開場を待っている10人ぐらいの行列の先を越して関係者顔で入って仕舞う。そして、開演前の肩を組んだ輪に、女優の中林舞さんと制作の大平さんと肩を組んで入り、一斉のかけ声に仲間入りした。会場は立ち見の場所を広く取ってあった。開演前にその立ち見席も一杯になって、後で聞いたら120人余りの入場者だったという。1回目が20人、２回目が40人、3回目が80人、そして4回目が120人と回を重ねるごとに増えていったのは素晴らしい。噂で面白いと聞いて増えていったらしい。芝居も、出演者全員がいろいろと笑いを取り、また最後には涙を流す人もいて、大成功だったといえよう。アンケートを見たら殆ど全部、「面白かった」「よかった」と書いていた。卒業制作の公演を指導して、卒業後の初めての公演が成功したのだから、わたしも嬉しかった。終演後、後片づけが終わった後、代表の北川陽子さんから全員に5円玉が入った大入り袋が配られて、局外者の筈のわたしまで貰った。それから、中野駅前の「和民」で打ち上げの飲み会になって参加した。同期の卒業生も数人参加して、若い食欲でどんどん食べて飲んでいた。多分夜明かしになると思って、1時半を廻って、タクシーで帰宅。リンゴとサツマイモと牛乳をお腹に入れて、２時半頃寝た。

14:17:30 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-28

前野隆司著「脳はなぜ心を作ったか」を読了。

27日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、5本の錐があると最初に先が折れるのは一番鋭利な錐、という書き出しで、要するに長所を持って目立つものは先ずやられてしまうということが述べられるが、最後は、王たるものは度量が大きくなければならないという結論になる。これも、論旨が途中で変わってしまう。解説に、こ

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by

nucleus

の編は、原文に脱落が多く、文意に一貫性がないともあった。しかし、美女の西施が長江に沈められたのも、彼女があまりに美しかったからだ。なんて書いてあったのは面白い。ストレッチ体操、シャワー。居間に掃除機を掛ける。それから、日録をノートして、「灰皿町blog日記」を書く。つづいてBlosxomBlogにマーガレットの花のアップの写真。麻理と鯖の味噌煮で昼食。仮眠。麻理が庭の繁茂した草木を切って整理する傍ら、皿など洗う。パルケに行って、南瓜、牛蒡、グリンピース、ジャガイモ、ニンジンなどと、洗剤や猫の餌を買ってきて、南瓜を煮る。それから、ジャガイモとニンジンを茹でて先日のカレーに入れて夕食の準備。仕事場に下りて、前野隆司著「脳はなぜ心を作ったか」の4章から読む。8時近く麻理とカレーと南瓜の煮付けで夕食。寝室で仮眠。9時廻ってフィリピンで元日本兵発見のニュースなど見て、NHK時代劇「御宿かわせみ」を見る。仕事場へ下りて、前野隆司著「脳はなぜ心を作ったか」を読了。心はニューラルネットワークの働きを受け止める受動的なシステムという説で、そこでの自己意識のクオリアを錯覚するのが＜私＞という無個性的な存在で、その＜私＞という存在は心を持つすべてのものの＜私＞に繋がっていくという考え方で、その考え方を心についての「地動説」として、心を持つのは人間ばかりでなく、動物も、ロボットも心を持つと考えて、彼らと平等に共存する世界を語るというところで4章は終わり、最後の第5章はそのニューラルネットワークの働きの説明だった。読み終えて、居間でリンゴ、大福、サツマイモを食べ、牛乳を飲む。それから、仕事場で「灰皿町blog日記」を書く。

01:14:47 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-27

会議二つと授業二コマで疲れた。

26日の朝、トイレで読んだ「墨子」に書いてあったことは、「ごますり」についてなのだが、「安住する家がないのではなく、安住する心がないのだ。云々」と書き始められるが、最後は、「国の最上の宝物は賢士を推薦することだ」となっていて、心の持ちようが大切ということから始まる文章としては論旨が変わってしまっているように思えた。11時過ぎに家を出て地下鉄で多摩美上野毛キャンパスに行く。表参道で田園都市線の5ドアの普通を見逃して4ドアの急行に乗る。上野毛のコンビニでむすび２個とジャスミンティのボトルを買って研究室でそのむすびを食べる。1時から多摩美の評議員会。平成16年度決算報告その他の審議。3時から映像演劇学科の臨時学科会議。08年度に向けての学科の将来構想の基本的な組み立ての意見交換。６時前に食堂でハヤシライスを食べながら２年生の学生と制作の話しをする。食堂を出たところで、「Macを買ったァ」と、４年生の佃さんが駆け寄ってくる。6時から「ドキュメンタリー映画論」の授業で、先週上映した「Father Complex」と「日日日常」について、表現に於ける個人性と日常性の問題を話す。ドキュメンタリーの対象について、社会的な価値意識から表現的な価値意識への変化を、マスメディアからネットワークメディアへのメディアの変化と重ねて考える。「個人性」においての自己解放意識の働き、また市場価値として求められる戦争やセックスなどの「非日常性」に対して、生きているというクオリアを求めて表現されるのが「日常性」と考えるという話し。7時40分過ぎから「空間表現研究Ｂ」の授業では、昨日読んだ前野隆司著「脳はなぜ心を作ったか」と茂木健一郎著「脳とクオリア」の序章によって、波動の媒質としての「心」ということを更に「自己意識のクオリア」に置いて考えると「表現の質」の問題にできるという考え方を話す。10時過ぎ帰ろうとすると、中庭で大橋さん、栄さん、杉村さんたちに掴まり、卒制のプランが行き詰まったというので、一緒にナセヤへ行き、ビールを飲み、ピザなど抓みながら話す。11時過ぎに別れて、わたしはタクシーで帰宅。途中疲れが出て眠くなる。三角橋を知っているというので、茶沢通りから入るのを指示してうとうとしていると、代沢十字路で淡島通りで右折しようとするので、下北沢までまっすぐ行くように言う。淡島から池の上に行っても、下北沢から池の上に行っても距離はそう変わりないが、わたしとしてはいつも行く道を行って欲しかっただけのこと。帰宅してリンゴ、羊羹、煎餅、牛乳を口にて夕刊を読む。眠くなっ

て、「灰皿町blog日記」は書かないで、24日のアイテムのコメントに応えてから、寝た。

14:45:20 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-26

久し振りにカレーを作る。

25日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、「親士」という項目で失敗した王侯が再び成功したのは賢士の助けがあったから、つまり有能な家臣を持つことが大切ということが書いてあった。ストレッチ体操を始めたところに野々歩が来たので、伸びすぎた庭の八つ手を切って貰う。彼はストリーミングサーバを立ち上げる話しをしていた。久し振りにLinuxを立ち上げて見せようとしたが、コマンドラインまで立ち上げたが、XWindowsなど開くコマンドを忘れていた。彼が帰った後、1時廻ってざる蕎麦を茹でて昼食。仮眠。3時頃、パルケに行ってカレーの食材を買ってきて、カレーを久し振りに作る。ジャガイモ、にんじん、タマネギの他に莢隠元を入れ見たが期待した味にならなかった。ご飯も炊いて夕刊を読んでから仕事場に下りて、紫陽花の花のアップをBlosxomBlogに入れる。それから、前野隆司著「脳はなぜ心を作ったか」を読む。途中で「クオリア」ということが出てきたので、茂木健一郎著「脳とクオリア」の序章を読む。言葉では言い表せない心の感じというのが「クオリア」ということ。茂木という人はソニーの研究所の人で、ソニーの「クオリア」という商品名はここから出たのかと思った。7時廻ってカレーを温めて一人で夕食。食後、ベッドに横になって、うとうとしながら「ためしてがってん」のアスパラガスを見る。立てて茹でるのがいいということ。仕事場に下りて、「脳とクオリア」の序章を読み終えて、また、前野隆司著「脳はなぜ心を作ったか」に戻り、２章、３章を読み終える。居間に行ってお祖母ちゃんのところから帰ってきた麻理と話しながら、リンゴ、角きんつば、サツマイモ、牛乳で一休み。また仕事場に下りて、Webをちょっと見て、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:46:47 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-25

昨日も今日も、夜は雨。

24日の朝、トイレで読んだ「墨子」には、先ず「改題」で「墨子」の成立や「墨家」の消長が書かれていた。著者の墨テキ（テキの字は羽の下に隹と書く、Shift jisでは表示出来ない）が活躍したのはB.C.450～390頃と考えられていて、孔子を学んで、その教えの「儒教」を批判し、非戦論を実行して行動的に活躍して、「儒家」と勢いを争うほどだったが、儒教の世の中になり衰退して忘れ去られていたが、清朝になって発掘されたという。ストレッチ体操、シャワー。BlosxomBlogに枯れた芍薬の花の写真を入れる。麻理とざる蕎麦で昼食。その後、眠くなって仮眠。２時半過ぎに家を出て地下鉄と大井町線で上野毛へ。コンビニでおむすびとインスタントみそ汁を買って、なんか抽選でガムが当たる。多摩美の研究室へ。4年の佃さんとDV撮影の話しをする。卒制をDVで制作するのなら、パソコンのDV取り込みや編集に早く慣れておいた方がいいと話す。彼女は今まで16ミリフィルムカメラの撮影を主にやって来ていて、先日、初めてDVで撮影したら勝手が違うので戸惑ったいうのだった。16ミリフィルムの撮影とDVとを比べると、DVの場合はテープからファイルに取り込む時が、フィルムの撮影の「スタート、カット」に当たる、という違いがあると話す。5時半頃おむすびとインスタントみそ汁で夕食。海老塚さんが来て、6時から201教室でFT・Ｂコースの４人の学生の面接指導。海老塚さんが印刷屋の紹介、わたしがシナリオの検討、作品の構成やロケ地の選択の検討など。８時頃研究室に戻り、4年の園田さんに8ミリフィルムで室内の写真と窓の外の風景を一緒に撮るやり方を話す。先ず一度テストして見ること。9時廻って雨の中、昨夜と同じように、折りたたみこうもり傘を差して下校。地下鉄で帰宅。リンゴ、サツマイ

モ、煎餅、牛乳で夕刊を読む。それから、仕事場に下りて、この「灰皿町blog日記」を書いた。

00:29:21 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-24

「墨子」を読み始める。

23日の朝、トイレでは、ブレヒトの「墨子」の偽の書「転換の書　メ・ティ」に代わって、本物の「墨子」を読み始めた。長谷川四郎も「転換の書　メ・ティ」を読んでから「墨子」を読んだことが「中国服のブレヒト」に書いてあったが、わたしも平等の愛と非戦論を説いたという「墨子」を読んでみたくなった。長谷川四郎はブレヒトと比較していたが、わたしにはそんな力はない。只読むだけだ。ストレッチ体操、シャワー。野々歩が麻理に持ってきた花を鉢に植え替える。昨夜書かなかった「灰皿町blog日記」を書く。また、植え替えた花の写真をBlosxomBlogに入れる。麻理とざる蕎麦で昼食。眠くなってちょっと仮眠。3時前に家を出て、地下鉄で二子玉川で下車。カツサンドとウインナーロールとコーヒーを買ってタクシーで多摩美へ。研究室でFT・Bコースの企画一覧表を作る。5時過ぎ海老塚さんが来て、一緒にカツサンドをを食べる。6時から201教室で、やって来た学生の制作企画の面接指導。８時頃、映像演習室に新しく入ったOSがTigerのMacを起動してみる。それから４年生の杉村さん、大橋さん、栄さんたちと卒制の話し。９時半に下校。地下鉄で帰宅。リンゴ、サツマイモ、まんじゅう、牛乳で夕刊を読む。それから、仕事場に下りてメールを開くと野々歩から昨日BlosxomBlogに花の名を「マリーゴールド」と書いたのは「マーガレット」の間違いだとメールが来ていたので訂正する。その後、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:37:02 - **shirouyasu** - **3 comments**

2005-05-23

「曲腰徒歩新聞」に**70**歳になった感想を書く。

22日の朝、朝食を終えたところに、野々歩がねむちゃんを負ぶって由梨さんと一緒に花とケーキを持ってきて、70歳のお祝いだということになった。ケーキを食べ、写真を撮ったり話したりした後、トイレに行って「転換の書　メ・ティ」を読了した。2月23日の夜から読み始めて、毎日少しずつ読んで読み上げるのに三ヶ月かかった。読んでいたというより付き合っていたという感じがする。それは、ブレヒトの言葉に身振りが感じられたからであろう。亡命の身でドイツのナチズムやロシア革命に身を摺り合わせて思考を絶やさないブレヒトの姿だ。社会主義共同体を弁証法に基づいて実現する上での個々の人間の行動の振る舞いを考えている文章の集積と受け止めた。運動体として行動する人間の振る舞い、そこにブレヒトの演劇が成立していると考えられる。12時過ぎに野々歩にタクシーを拾ってきて貰い、由梨さんねむちゃんと同乗して家に送り、そのまま野々歩と一緒にイメージフォーラムへ行った。「ヤングパースペクティヴ2005」のDプロを見て、野々歩と近くのうどん屋で昼食。続いてEプロを見て、コーヒーショップに行って、考えをメモした。それからFプロを見た。全部で短長合わせて8作品をみた。それぞれ「映像の学校」の作品が多いことが気になる。雨の中、傘を差して宮益坂を下って、文教堂に初めて入り本を２冊買い、タクシーで帰宅。長ネギのみそ汁を作り、昨日買った豚の角煮の残りと南瓜の煮付けを電子レンジで温めて一人夕食。それから寝室のベッドで「義経」とＮスペ「森光子の『放浪記』大いなる旅路」を見る。その後、仕事場で、野々歩が持ってきたマーガレットの写真をBlosxomBlogに入れて、半月振りに「曲腰徒歩新聞」の記事に「70歳の感想」を書いて、リンゴと麩まんじゅうを食べて、牛乳を飲んで寝た。

13:11:14 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-22

劇団「小指値」の「**My Name Is I Love You**」の公演を見るのは３回目。

21日の朝トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、「ライ・トゥのキン・イェーにたいする愛は、民衆のすべてを幸福にしようという思いにもつうじていました。彼女の愛がこの方向にむかえばむかうほど、それはキン・イェーを、いっそうよろこばせることになるでしょう」と書いてあった。一人の男への愛が民衆のすべてを幸福にする思いにつうじている、なんて、そういう愛の形もあるんですね。ストレッチ体操はせずに、９時半頃家を出てタクシーでイメージフォーラム付属映像研究所へ行ったが、今日はわたしが出所する日ではなかった。わたしの講評は来週だった。で、青山から澁谷への朝の散歩となった。東急ハンズで鞄に肩掛けをつける材料の革と針と千枚通しと糸と、それからノートを買って、Book1stで心理学の本を４冊買った。そして、東急本店の地下で、南瓜とグリンピースとレタスと麩まんじゅうとイチジク、それに豚の角煮を買って、タクシーで帰宅。早速、上岡さんが送ってくれたサツマイモを蒸かす傍ら、南瓜とグリンピースと牛蒡を煮る。その間、仕事場でHi8のカメラで撮ったテープの多摩美関係の分をより分ける。南瓜も煮え、ご飯も炊けたので、それで昼食。食後、ちょっと仮眠。また仕事場に下りて、Hi8のデッキを設定して、分けたテープの１、２本を見てみる。1994年の3月の多摩美二部芸術学科の卒業式が魚眼のコンバーターをつけて撮ってあった。テープは村山夕香子さんのアップで終わっていた。それから、テラスのつつじの花を撮ってBlosxomBlogに入れる。麩まんじゅうを食べ、お茶を飲みながら夕刊を見て、相撲の中継を見る。朝青龍が千代大海に勝って優勝。ニュースなど見た後、6時半前に豚の角煮と南瓜の煮付けで夕食。7時前に家を出て、劇団「小指値」の「My Name Is I Love You」の公演を見に行く。小田急から新宿乗り換えでJR中野下車。車内で「My Name Is I Love You」の言葉と演技アクションの分離についてちょっと考える。「ふれあいロード」を歩いて早稲田通りに出て、コンビニで菓子パンを買って「StudioSAI」へ。3回目の公演を見る。アクションで笑いを取っていた。終わって後片づけの後、感想を述べる。アクションが言葉から解放され始めたということ。11時廻って、北川さんと野上さんを乗せてタクシーで、笹塚で野上さんを、池の上で北川さんを下ろして帰宅。リンゴ、麩まんじゅう、サツマイモ、牛乳でテレビを見てから、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:14:55 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-21

東京演劇アンサンブル公演の久保栄作「林檎園日記」を見る。

20日の朝トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、「メ・ティは『ひとは三人称でも生きられる』といった。」と書いてあった。要するに歴史的に自己観察することによってそうなるというのだ。野々歩に電話してfaxのテストの送信してと頼む。うまく受信出来た。やっぱりボタンの押し忘れだった。ヒメジオンの花を撮ってBlosxomBlogに入れる。それから昨日の分の「灰皿町blog日記」を書く。麻理が掛け蕎麦を作って一緒に昼食。眠くなって仮眠。仕事場に下りて、これまで何年かに撮ったDVテープの多摩美関係のものを分ける。５時半に家を出て、7時からの東京演劇アンサンブル公演の久保栄作「林檎園日記」を見るために、西武新宿線の武蔵関へ。高田馬場で乗り換えるの何年振りか。普通に乗ったら武蔵関に着いたのが6時半を廻っていた。駅近くのラーメン屋でラーメンを注文したがなかなか出来ないで、出たのが6時50分、急いで食べるが、３、４口食べたら、もう55分になってしまい、食べかけのまま席を立って、住宅街を急いで歩いて「ブレヒトの芝居小屋」へ行く。俳優の長畑豊さんと衣装の加納豊美さんからの招待と告げて切符を切って貰って席に着いたら音楽が始まった。それから、途中１回15分の休憩を挟んで、11時前まで４時間弱の舞台を見た。休憩にはお腹が空いたのでロビーで菓子パンを買い、リンゴジュースを飲んだ。見終わったら目がしょぼしょぼになったけ

ど、1938年の北海道の林檎園一家の没落を見届けることができた。もう11時というので、来た時のように早足で駅に行き、通過電車を２台待っていると、長畑さんがホームを歩いてきて、次に来た電車に一緒に乗って、高田馬場で乗り換え、新宿まで話しながら帰った。代々木上原の駅近くの弁当屋でおにぎりを２個買って帰宅。夕刊を読みながら、おにぎり、リンゴ、牛乳。その後、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:46:27 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-20

わたしの**70**歳の誕生日。

19日はわたしの誕生日、70歳になった。やりたいことが思うようにできないでいます。でも、まあ、いいや、ってことですね。
朝トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、「文学者への国家の年金について」という項目で、国家が文学作品に金を支給すると、いろいろな弊害が考えられるから、作品に対してではなく、外国文学の翻訳に対してのみ支給するのがいいのではないかと書かれていた。ブレヒトっていろいろ考える人なんだ、と思った。
朝、麻理が宅急便で受け取ったのは、歌川恵子さんからのクレマチスの鉢だった。そのクレマチスの花を写真に撮ってBlosxomBlogに入れる。それから、「灰皿町blog日記」の昨日の分を書いてアップする。1時半を過ぎたので出掛ける。地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛へ。コンビニで、ざる蕎麦弁当とハンバーグなどいろいろ入った弁当を買って多摩美の研究室へ。ざる蕎麦弁当を食べる。事務の清水さんが誕生日のお祝いに鉢植えの花を持ってきてくれた。3時から5時過ぎまで３人の学生の制作企画の指導。その後、弁当を食べる。6時から「ドキュメンタリー映画論」で、個人空間のイメージとして、佐俣さんの「Father Complex」と能勢君の「日日日常」を見せる。7時40分から「空間表現研究Ｂ」では波動の媒質としての「心」について、前野隆司著「脳はなぜ心を作ったのか」によって知情意記憶などについて話す。4年の福井馨さんが誕生祝いだといって、コインが見えなくなるマジックボックスの貯金箱を買ってきてくれた。9時過ぎ4年の山峰君と卒制でやることのコンセプトについて話し合う。山峰君も誕生日のお祝いといって「携帯用孫の手」をくれた。10時過ぎて帰ろうとすると、助手の内野君から呼び止められて、講師控え室に連れ行かれると、テーブルの上に７本の赤いロウソクが灯ったケーキが置かれていて、わたしの誕生日のお祝いということだった。ロウソクの火を一息で吹き消して、みんなでケーキを食べた。映像演劇学科の助手副手たちから「古稀」のお祝いをして貰えるなんて思ってもいなかったので嬉しかった。11時近く下校。上野毛駅のホームで２年生たちとさよならを言って、その中の一人、鈴木雅徳君と澁谷まで話しながら一緒。12時過ぎ帰宅。上岡文枝さんが送ってくれたメロンを食べ、リンゴを食べ、サツマイモと煎餅で夕刊を読む。麻理に紙を換えてからfaxが受信できなくなっていると云われ、野々歩に電話してfaxを送ってもらうが、fax受信機に通じない。３回かけ直して貰うが駄目。接続など確かめて、いろいろやって汗びっしょり。ターミナルアダプターの設定をやり直さなければならないとかと、うんざりした気分になるが、最終的に、ふと、「あれっ！自動受信のボタンの押し忘れか」と気が付く。もう1時をとっくに廻っていて、「自動受信」のボタンを押して寝た。

13:13:09 - **shirouyasu** - **2 comments**

2005-05-19

木村和代さんの「**aria**」など**3**つの映像作品を見る。

18日の朝読んだ「転換の書　メ・ティ」には、「概念のカタログ」というタイトルで、＜民族＞には「そのような＜民族＞の利害は、しかし、かならずしも＜国民＞の利害とおなじではない。」と、＜規律＞には「行政にたずさわる役人とは、

このうえなく規律に欠け、＜服従＞を強制する種族なのである。」と、＜生存圏＞には「フ・イーは国家のために＜生存圏＞を要求した、つまり国家が自由に搾取できる領域を、である。メ・ティはそれを＜屠殺圏＞と命名した。」と書かれていた。フ・イーはヒットラーのこと。ストレッチ体操、シャワーの後、昨日木村和代さんから渡されたビデオカセットで、木村さんの映像作品「aria」他２つの作品を見た。「aria」のまん丸の水滴が綺麗だった。後で聞いたら滝の裏側から光速シャッターで撮った映像だということだった。麻理が茹でた蕎麦でキノコ入りのつゆで昼食。2時に家を出て、地下鉄で多摩美へ。上野毛のコンビニでハンバーグ弁当とナメコのインスタントみそ汁を買った。研究室で3年生と２年生の、いずれもアニメ作品をつくりたいという学生と面接指導。6時過ぎにハンバーグ弁当とナメコのみそ汁で夕食。7時から、「生涯学習・新しい詩の書き方を探そう」の２回目。ことばの音韻やら、意味の生成について話す。9時過ぎ、２年生の学生と面接指導。10時廻って、木村和代さんと下校。上野毛駅近くのイタメシ屋「ナセヤ」でビールを飲んで作品のことなどあれこれ話しをする。12時頃、駅前で別れてタクシーで帰宅。リンゴ、サツマイモ、麩まんじゅう、牛乳で夕刊を読む。1時を廻ってしまったので、「灰皿町blog日記」は書かないで寝てしまった。

13:21:46 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-18

福井馨さんを魚眼で撮る。

17日の朝読んだ「転換の書　メ・ティ」には、エンゲルスの弁証法のことが書かれていた。ブレヒトは弁証法的唯物論の考え方を取っている。ストレッチ体操、シャワー。日録ノート、庭の緑の写真をBlosxomBlogに入れる。それから、昨日から読み始めた前野隆司著「脳はなぜ心を作ったか」を読む。1時頃蕎麦を茹でて食べて、1時半に家を出て、タクシーを拾って「Contemporary Photo Gallery」へ。そこで個展をしている福井馨さんを魚眼で撮影する約束をしたので行ったが、まだ来てなかった。暫く待ってやって来たので、撮影する。２時半過ぎにそこを出て、新宿３丁目から地下鉄丸ノ内線に乗って、半蔵門線に乗り換えるために赤坂見附で下りたら、「志郎康さん」と呼び止められたので、振り返ると、ホームに村山道宣さんが立っていた。村山さんは、1980年頃平家琵琶やおらび声の研究家として民俗系の集会で一緒だった人。どうしていられますかと問うと、牧水調朗詠の研究をしているということで、今度、「若山牧水生誕120年記念コンサート　歌の調べ　ー牧水の詩によるー」というのやると言って、ビラをくれた。立ち話で別れた。半蔵門線で二子玉川乗り換えで上野毛駅下車。上野毛駅のホームや環八沿いの駅舎を魚眼で撮った。コンビニでおむすびとインスタントみそ汁を買って多摩美へ。研究室で、「脳はなぜ心を作ったか」を読んでいると、4年の佃さんが来て卒制の話し。5時廻って、むすびとインスタントみそ汁。５時半過ぎに海老塚さんが来て、70歳誕生祝いに海老塚さんの小品を贈られる。6時から201教室で、海老塚さんとＦＴ・Ｂコースの制作企画の指導。８時半廻って研究室に戻り、学生の一人と話す。福島学科長に学科長室に呼ばれて、退職記念の催しをやってくれるという話しで、「わたし的にはどういう考えか」ということを聞かれた。やって貰えるの嬉しいが、やって下さるのなら、わたしなりの「表現思想」を持っているので、その表明になるような催しにして欲しいと応えた。10時廻って、木村和代さんと下校。佃さんとは駒沢大学前まで、濱野さんとは表参道まで一緒に、地下鉄で帰宅。リンゴ、サツマイモ、麻理が買ってきた麩まんじゅう、それに牛乳で夕刊を読む。それから、仕事場に下りて、加納さんから招待された東京演劇アンサンブルの「林檎園日記」をWebで見て、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:24:37 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-17

FT・Ｂコースは前期企画プレゼン。

16日の朝読んだ「転換の書　メ・ティ」は、1940年代に書かれたものに移った。ロシア革命後に国家が成立して腐敗していくという指摘が書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。日録ノート、牡丹の花のその後の姿の写真をBlosxomBlogに入れて、12時半頃家を出る。爽やかな、5月にしてはちょっとひんやりとしたいい天気。地下鉄で二子玉川下車。カツサンドと蕎麦の弁当を買って、タクシーで多摩美に行く。蕎麦の弁当を食べる。2時から５時半まで、続けて５人の学生に制作の企画を指導。カツサンドを食べる。丁度来た海老塚さんもカツサンドを食べる。6時から「FT・Ｂコース」の、先ず、出席を取りながら、一人一人に声を掛けて、コース代表やデザインやパンフレットなどのプロデュース委員を決める。それから、制作の企画プレゼンテーション。前期または年間を通して作る作品の内容をコースのみんなに向かってプレゼンテーションする。一人で映像作品を作るという者が結構多い。小説を書くというのもいる。発表の日、時間を決めてラジオ放送をするという二人組もいた。9時前までにほぼ全員が終わる。その後、研究室に行って二組の面接指導。４年生が数人、卒制の企画書を持ってきた。10時を廻って、疲れたので、多摩美前の環八でタクシーを拾って帰宅。運転手さんが都議選で組合の機関決定では民主党支持を決めたのに、知り合いが社民党から立候補するというので、元々社民支持の自分は困ったと嘆くのを聞いた。帰宅して、リンゴを食べ、牛乳でサツマイモを食べながら夕刊を読む。それから、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:30:30 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-16

「ヤング・パースペクティヴ**2005**」の**A**、**B**、**C**プログラムを見た。

15日の朝読んだ「転換の書　メ・ティ」には、「絵画と画家について」というタイトルで、船曳人足の息子で、「ぼくは向日葵を描いているわけではありません。ぼくは線と点と、それにときおりいだく感情を描いているのです。」という若い画家に対して、メ・ティが「特定のことが絵筆で表現されねばならぬとすれば、そのために絵筆をあやつることはたしかにむずかしいでしょう。搾取者らは無数のことをしゃべりちらすが、被搾されているひとびとは搾取について語るだけだ。さあ、きみ、船曳人足を描きなさい！」と語る。政治状況が今と違うからか、ちょっと違う、と思ってしまう。ストレッチ体操は5日振り。シャワーで頭髪を洗う。12時頃、昨日買って来た鰻弁当の麻理の分を、彼女が食べないので食べる。12時半に家を出て、下の公園の前でタクシーを拾ってイメージフォーラムへ。1時から「ヤング・パースペクティヴ2005」のAプログラム8作品を見る。終わって、見に来ていた辻和人さんと近くのコーヒーショップでコーヒー。続けてＢプログラム5作品を見る。終わると、青山ブックセンターへ行って、本を３冊買う。戻って、Ｃプログラム2作品、一本は55分の作品を見る。6時過ぎに終わって、辻さんと食事を一緒にしようと東急ハンズの裏のレストラン「ハチロー」に行ったが、シャッターが下りていた。で、東急本店の８階のレストアランで食事。わたしはハンバーグシチューとライス。8時前に別れて、わたしは地下の紀伊国屋でグリーンとブラックのオリーブの缶詰、レタス、パンを買ってタクシーで帰宅。8時過ぎてNHK大河ドラマ「義経」を見る。その後、BlosxomBlogに紫陽花の花芽の写真を入れてから、ベッドに横になって仮眠。10時廻っていて、居間に下りると麻理が帰ってきていて、出席した友人の結婚式の雰囲気がよかったと、その様子を話してくれる。わたしは、話しを聞きながらリンゴ、サツマイモ、牛乳を口に運ぶ。それから仕事場に下りて、メールの返事。粉川哲夫さんがWebに「極私的に遂に古稀」について書くに当たってスチルが欲しいというので送る。スチルを送って、「灰皿町blog日記」を書いた後に見たら、『粉川哲夫「シネマノート」』に出ていた。

00:56:14 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-15

劇団「小指値」の「**My Name Is I Love You**」の２回目の公演を見る。

14日の朝、読んだ「転換の書　メ・ティ」には、「キン・イェー、愛について語る」というタイトルの項目の中に、「愛はひとつの生産だからである。愛は、良いやりかたであるにせよ、悪いやりかたであるにせよ、愛するひとと愛されるひとを変えていく。そとからみるだけでも、愛するひとびとは生産するひとびとのように、しかもある高度な秩序にしたがう生産者のようにみえる。」というくだりがあった。ストレッチ体操はせず、出掛ける前に時間があったので、ほころんだ薔薇の蕾の写真をBlosxomBlogに入れて、９時半前に家を出て、地下鉄を表参道で下りて、イメージフォーラム付属映像研究所へ。Aクラスの課題講評で午前中は、村山匡一郎さんと萩原朔美さんと３人で7人の作品を講評、今年度から講師３人で講評することになった。近くの蕎麦屋で萩原さんと昼食、わたしはざる蕎麦。午後は萩原さんと金井勝さんと６人の作品の講評。４時前に終わって青山通りに出るとイメージフォーラム付属映像研究所の卒業生の28期生の石垣友子さんに声を掛けられる。一瞬思い出せなかったが、「旅する女の子の映画だった？」と問い返して、「旅人の視る夢」の作者だったと思い出す。歩きながら話して、喫茶店「羽當」でいろいろと作品のことを話す。澁谷駅で別れて、地下の食品売り場で鰻弁当と麩まんじゅうを買って、「笹塚行き」のバスに乗るが、山手通りの富ヶ谷交差点で30分の渋滞というので、料金200円を返して貰って、タクシーで松涛町を抜けて帰宅。相撲の中継を見ながら鰻弁当を食べる。猛烈に眠くなったので、15分仮眠。劇団「小指値」の「My Name Is I Love You」の公演を見るために、７時前に家を出て、小田急からJRに乗り換えて中野で下車。ブロードウエイでドーナッツか菓子パンを買おうと思ったがパン屋が見つからず、コンビニで差し入れの菓子パン10個余りとジュースを買って、「Studio SAI」に行き、２回目の公演を見る。この前より確実によかった。終わって、反省会などに参加して、11時前にタクシーで、中野通りを行き、野上絹代さんを笹塚まで、北川陽子さんを池の上まで送って帰宅。二人をタクシーに乗せると、昨年の「自来也」の稽古の頃を思い出す。帰宅して、リンゴ、麩まんじゅう、煎餅、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。

00:27:32 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-14

「**ATP賞2005**総務大臣賞」の審査。

13日の朝、トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、愛人ルート・ベルラウとの仲がうまく行かなくなっているあたりのことが書かれていた。「冷静と愛」というタイトルで、「ケン・イェーは冷静であろうとつとめた。ライ・トゥはかれの冷静さをとりあげようとした。『冷静さと愛はいったいうまく折り合えるものなの？』とライ・トゥが質問すると、『そうさ。』と、ケン・イェーは答えた。」とあった。ストレッチ体操はせずに、11時20分頃家を出て、井の頭通りでタクシーを拾い、「ATP賞2005総務大臣賞」の審査会場の日比谷の「東京會舘」へ。12時ギリギリに到着。洋食のコースで審査委員と昼食。1時から審査。審査員は福田和也氏、音　好宏氏、森まゆみ氏、島森路子氏とわたしの５名。候補作品は6作品。それぞれがそれぞれの作品について意見を言い、一通り述べたところで推薦作を挙げて、一致しなかったので、最後に投票という仕方で決まった。6月3日の授賞式で発表になる。わたしはディレクターの主体性が出ていると思われるものを選んだ。2時半過ぎに終わって、わたしは久し振りに宮城前広場を歩いて、駿河台下に出て、神保町から都営地下鉄に乗った。古本街を歩いたが一軒も本屋を覗かなかった。古本街を歩いて古本屋に入らないのは生まれて初めてのことかも知れない。乗った地下鉄が急行で新宿３丁目では止まらないので市ヶ谷で下りて一台待つ。新宿３丁目で下りて、「Contemporary Photo Gallery」で多摩美の映像演劇学科4年生の「福井馨展」を見る。自分の部屋で、また鳥取砂丘で、自分の姿を自分で撮影した作品。当人がいたので、悪口を気楽に言ったりする。学友の禧久小次郎君が来ていた。そこから伊勢丹へ行ってヒレカツとコロッケとおこわと麩まんじゅうと柏餅を買っ

て、タクシーで帰宅。お茶を淹れて、麩まんじゅうを食べながら夕刊を読む。仕事場に下りて、庭に咲いた名前のわからない花の写真をBlosxomBlogに入れる。それから「極私的に遂に古稀」をminiDVからVHSへダビングしようとしたら、始まって数分のところで音跳びがあるので、もう一度Final Cut Proのからテープに書き出す。その間に、みそ汁を作ってヒレカツで夕食。今度は、途中で駒飛があって止まっている。そこで、もう一度書き出す。ずっと見ていてうまく行ったと思ってダビングしようとしたら、また同じところで音跳び。テープに異常があると思って、再々の書き出し。その間に、寝室のベッドに横になってNHK時代劇「御宿かわせみ」を見て仕事場に下りる。麻理が帰ってきてコロッケで夕食。今度は書き出しも成功、ダビングも成功。「灰皿町blog日記」の下書きを書いて、リンゴと柏餅を食べ牛乳を飲んでから、blogにアップ。

00:48:13 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-13

「**ATP賞2005**総務大臣賞候補作品」を６本見終わった。

12日の朝、トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、トロッキーの革命理論が書かれていた。ブレヒトはこの「転換の書　メ・ティ」で、ある時点ではスタ－リンを認めながらも、その独裁を批判している。しかし、いずれにしろ社会主義的共同体を理想にしていたようだ。ところで、今日の日経の「私の履歴書」という連載コラムに千葉商科大学長の加藤寛という人が、「共産主義経済では福祉の向上を図れない、と私はソ連経済の研究を通じて確信し市場経済のもとでしか福祉国家は実現できないと考えていた。思想的には福祉の増大と反共産主義を標榜する民主社会主義に与することになる。」と1960年代頃を振り返って書いていた。軽くストレッチ体操をやって、汗をかかなかったし、鼻風邪を引いていて、シャワーは止め。メールに返事。ATP賞候補作品の２時間近い作品を見始めて、半分過ぎたところで、自転車で銀行に行って家計費その他の現金を下ろして、パルケで南瓜などとパンとおむすびを買ってきて、おむすびで昼食にする。BlosxomBlogに崩れた芍薬の花の写真を入れて、3時過ぎに家を出て多摩美に行く。4時からの教授会をさぼって、研究室で学生とFTの制作企画の面接をする。５時頃教授会が終わって、映像演劇学科の会議には出る。6時から「ドキュメンタリー映画論」の授業。60年代、70年代のドキュメンタリー映画の社会イメージということと、その後の個人ベースで作られる個人イメージというものについて話し、わたしの「日没の印象」の成立を話し、「日没の印象」を上映。食堂でハヤシライス。食堂から出たところで、上野倫可さんに会ったら、今日も、東横線の沿線の屋上の男が赤いコートでギターを弾いていていたが、今日は電車に向かって手を振っていたという。7時半からの「空間表現研究Ｂ」で、波動の媒質としての「心」について、わたしたちは現実的にも心理的にも空間の内在的存在であり、その内在で共有するものを心というように考えられると話し、身体の空間のこととして「幻肢」についてのテレビ番組のビデオを見せた。研究室に戻って、FTの制作企画の面接指導。10時を廻って下校。地下鉄で帰宅。途中。車内で居眠り。帰宅して、リンゴと、麻理が買ってきてあったパイとサツマイモと牛乳で夕刊を読む。それから、昼間見残していた作品を見終える。そして、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:23:22 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-12

多摩美生涯学習講座「新しい詩の書き方を探そう」の第一回目。

11日の朝、トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、スターリンについて「はじめのうちは、少くともかれらのあいだに民主主義があった。しかし、闘争が激化するにつれて、国家装置が労働者階級から遊離し、ある種の退行的形態を帯びるにいたった。ニー・エンは、労働者たちにとっては、まだ書記であったときに、

農民たちの皇帝となった。そのあと、労働者たちのあいだで階級闘争が緊迫すると、かれは労働者にとっても皇帝となったのだ。」と書かれていた。ニー・エンはスターリンのこと。ブレヒトがロシアを横断してアメリカに亡命したということが理解出来るように思った。「皇帝」が支配する国にとどまりたくなかったのだろう。今日は、ストレッチ体操をしないで、仕事場に下りて、多摩美生涯学習講座の資料を探しプリント。多摩美生涯学習講座の資料を探しプリント。「ATP賞2005」の審査が13日にあるので、それまでに見ておかなければならないドキュメンタリー６作品の中の2作品を見た。一本見て、お茶漬けをかき込んで、もう一本見て、ジャスミンの花の写真をBlosxomBlogに入れる。4時に研究室で制作企画の指導の面接の約束があるので、3時に出掛けて、上野毛のコンビニで弁当を買って多摩美の研究室へ。文章を書きたいという学生に、先ず文章を頭の中で組み立てるやり方を話す。それから、研究室で持って行ったATP賞候補の長い作品を見る。弁当を食べる。7時から、多摩美生涯学習センターに行って、わたしの担当の講座「新しい詩の書き方を探そう」の第一回目の話しをする。幾つかの詩を例に現代詩というものを説明して、それから日常の言葉と表現の言葉の違いを話す。研究室に戻って、４年生の小林由美子さんと卒制の企画といろいろな話しをする。9時半廻って下校。地下鉄で帰宅。リンゴ、サツマイモ、牛乳で夕刊を読む。仕事場に下りて、ドキュメンタリー作品二本を見る。それから、メールの返事を書いて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:17:29 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-11

「ATP賞2005総務大臣賞候補作品」のテレビドキュメンタリーを一本見る。

10日の朝、トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、スターリンの独裁について書かれていた。ストレッチ体操、その間にサツマイモを茹でて、シャワー。日録をノート。BlosxomBlogに蔦田さんから貰った紫陽花の花の写真を入れる。12時過ぎに家を出て、地下鉄、田園都市線、大井町線で上野毛へ。さくら庵でざる蕎麦。コンビニでおむすびを買って、多摩美へ。2時から２年生の一人の学生に「コンピュータルーム」でHPの作り方を教えて、5時過ぎまでに研究室で2年生の学生二人に制作企画の面接指導。その後、わたしの「眺め斜め」を見た海老塚さんとおむすびを食べながら中沢新一さんの話をする。6時から、201教室に行って、制作企画の指導。7時半に研究室の戻って福島学科長とちょっと話して、また201教室に戻り指導の続き。そこで、3年生の福島千尋さんから昨日「ナセヤ」に行ったのは「わたしじゃないわ」と言われ、同じ「千尋」で「金子千尋さん」とBlog日記に書いた名字を間違えたのに気が付いた。９時前研究室に戻ると、住吉さんが「竹の子ご飯のおむすびを作ってきたので、一緒に食べましょう」と、昨夜ビールを飲んだ彼女の卒制グループ一同と宮下太郎君が来る。そして名前を書き間違えた当の金子千尋さんも来たので謝る。そして、竹の篭に入れて持ってきたおむすびをみんなで食べる。その後、上野倫可さんが来てちょっと話す。東横線に乗っていたら、屋上で赤いワンピースの男の人がビルの屋上でギターを弾いていて、そこを過ぎたら猫が空を見ていた、と言うだった。10時前に下校。来た時と同じ路線で帰宅。リンゴ、サツマイモ、牛乳で夕刊を読む。それから、仕事場に下りて、「ATP賞2005」の候補作品のドキュメンタリーを一本見て、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:16:48 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-10

FT・Bコースで個別指導した後、卒業生の佐々木文美さんとビール。

朝食を食べながら「日経新聞」を読んでいると野々歩が来て実験映画のネット配信のサーバーを立ち上げるにはどうしたらいいかなどと話す。トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、ロシア革命後十数年経って下から上への民主主義に代

わって上から下への官僚主義になりつつあるということが書いてあった。ストレッチ体操はせずに小林医院へ自転車で行く。井の頭通りまで野々歩と歩きながら話す。シアターXの上田美佐子さん宛の「シアターX＝多摩美映像演劇学科共同創造・制作提携参加報告」をポストに投函。小林医院の待合室で岩淵達也著「ブレヒトと戦後演劇」の始めのところを読む。診察では血圧を測る。うろ覚えだが142~86だったか。慶応堂に薬の調合を頼んで、文教堂書店で本を見る。戻って薬を買い、また別の漢方薬局でフカヒレのサプリメントを買って帰る。領家さんに貰った花束を撮影してBlosxomBlogに入れる。日録をノート。2時前に出掛け、地下鉄と田園都市線で二子玉川で下車して、サンドイッチを買って多摩美上野毛キャンパスへ行く。研究室で卒制を担当する学生の名簿を作る。「シアターX＝多摩美映像演劇学科共同創造・制作提携参加報告」を福島学科長と加納教務主任に渡す。5時過ぎサンドイッチを食べる。6時前に海老塚さんが来て、サンドイッチを食べる。3年生の持田舞さんが来て、詩と写真の感想を話す。６時過ぎに、201教室に二人で行って、来ていた20名ほどの学生の制作企画を個別に聞いて指導する。7時半廻って、休憩しようと研究室に戻ると丁度４年生の木村加世子さんが来たので、昨夜読んだシナリオについて話す。また教室に戻って片山貴晴君に昨夜読んだ小説について話し、都市の空間の中に置かれた人間に関心が向いているのかな、と批評する。研究室に戻って、今年卒業した佐々木文美さんが来ていろいろと勤め先のことを話す。それから、一緒にビールを飲みに行こうと、４年生の清水大輔君、新名なほみさんらを誘って上野毛駅近くの「ナセヤ」へ行く。清水君から「4月17日」に書いた彼の名前が「太輔」だったと指摘される。住吉奈緒子さん、阿久津祥子さん、金子千尋さん、日高美月さんたちが一緒に来て12時近くまでいろいろ話す。佐々木文美さんを三軒茶屋までタクシーで送って帰宅。リンゴ、大福、煎餅、牛乳で夕刊を読む。それから仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書いた。清水君の名前は「大輔」に直した。

01:40:25 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-09

片山貴晴君の小説と、木村加世子さんのシナリオと、持田舞さんの詩を読む。

8日の朝、トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」はキン・イェーと妹の関係、つまりブレヒトと内戦が起こったスペインに行った愛人ルート・ベルラウとのエピソードが語られている。ストレッチ体操の後、シャワー。BlosxomBlogに小手毬の花の写真を入れる。「曲腰徒歩新聞」の記事に、「ブレヒトについての纏めの文章」を入れる。11時半に家を出て、坂の下でタクシーを拾ってパークタワーへ。12時から「IFF2005」のＢプロ日本２を見る。始まる前に玉野真一君とちょっと言葉を交わす。終わって、金井勝さんと地下の蕎麦屋で食事、わたしはざる蕎麦。いろいろと作品の感想を話す。「IFF2005」は今日で終わり、わたしは多分来年までこのパークタワーには来ない。金井さんは次のプログラムを見に行き、わたしは十二荘の方に出て丁度来た渋谷行きのバスの乗って、NHK西口で下りて、東急品店へ行く。地下で、グリーンオリーブの缶詰とハムと、イチジクとサクランボとリンゴを買って、タクシーで帰宅。惣菜を買う筈だったが忘れた。南瓜を牛蒡とグリーンピースと一緒に煮る。相撲の中継を見る。横綱、大関安泰。仕事場に下りて、「シアターX＝多摩美映像演劇学科共同創造・制作提携参加報告」を４部作ってクリアファイルに入れ、映像演劇学科長と加納さんに渡すとことにする。一部はシアターXの上田美佐子さんに送るために封筒に入れて、宛名をシールにプリントして切手と貼る。夕食は麻理がハンバーグを焼いて一緒に食べる。食べながらHNK大河ドラマ「義経」を見た。平清盛が病死した。その後、仕事場に下りて、始めに多摩美4年生の木村加世子さんの卒制企画のシナリオを読み、次に3年生の持田舞さんの詩と写真のアルバムを読み、続けて3年生の片山貴晴君の短編小説を２つ読んだところで休憩して、リンゴと柏餅と牛乳を口にして、残り３つを読む。それから、「灰皿町blog日記」を書いた。

01:11:43 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-08

「極私的に遂に古稀」の２回目の上映。

7日の朝トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」は、ブレヒト自身のことだというキン・イェーが登場してくる項目が続いている。ストレッチ体操はせず、仕事場に下りて、日録ノート。「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の場面集ファイルを印刷しようとしたら、プリンタのインキ切れで交換。それから、芍薬の花の写真を撮り、BlosxomBlogに入れる。「灰皿町blog日記」の昨日の分を書く。２時頃家を出て上原公園のところでタクシーを拾ってパークタワーへ。昨日と同じ道を走る。２時半からＣプロ日本３でわたしの「極私的に遂に古稀」が上映される。ホールで上映前に松本俊夫さん、玉野真一君と会う。上映が始まって、二子玉川の駅前で転んだというところで笑い声が起きたのがよかった。ドアのところで立って見ていると昔の詩の同人誌「凶区」の高野民雄さんが入ってくる。彼はわたしの作品を見たら出たので、わたしも出て、ロビーで話す。小学校時代の友人の母親のお通夜に行く前に来たということだった。やはりわたしの作品だけ見に来た薦田愛さんから、紫陽花の花を貰う。終わって、作者紹介の時、blogをやってる話しをする。清水哲男さん、八木忠栄さんと言葉を交わす。ロビーで多摩美の1年生二人、川口晴美さん、毛利珠江さん、あと二人の人と言葉を交わす。そして領家彰子さんから花束と手製のマーマレードを貰う。それから、多摩美の卒業生の山本遊子さんと平竹晋也君と高橋亮太君と地下のレストランで食事。スパゲッティ。ゲーム会社に勤める平竹君高橋君からゲーム制作最前線の話しを聞いた。朝から一日中バグを探している部署とか、新しいプログラミング言語のＤ言語とか。５時半頃ソフマップ・Mac店の前で別れて、わたしは新しいMacOS「Tiger」を買い、地下のアマーテでコーヒーを飲んで、小田急の地下でお菓子を買って、JRに乗り中野駅で下車して、ブロードウエイを抜けて、「Studio SAI」へ行く。８時から多摩美の今年の卒業生の劇団「小指値」の公演「My Name Is I Love You」を見る。読み手の言葉に合わせて役者が演技しダンスするというテクノボーイの恋物語の変わった芝居。終わった後、後片づけの後まで残って乾杯して、北川陽子さんをタクシーで池の上の家近くまで送る。帰宅して、ちょっとご飯を食べて、牛乳とバナナと柏餅で夕刊。それから、仕事場に下りて、この「灰皿町blog日記」を書いた。

02:01:44 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-07

「**IFF2005**」で「人はいない」を見た後、大内君、高田君、竹内さんとビールを飲む。

6日の朝、トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、キン・イェーの詩として

「ぼくらは愛しあった、戦闘のあいまに。
行軍の隊列にいて
たがいに目で合図した。　手紙は
置かれたままだった、占領された町々に。」

と始まる詩があった。戦争中の抵抗運動の最中の恋愛を描いた映画の場面を思わせる詩だ。これは、ルート・ベルラウというブレヒトの愛人に向けられた詩だということ。ストレッチ体操の後、シャワーで髪の毛を洗う。咲き始めた芍薬の花を撮ってBlosxomBlogに入れる。それからこの「灰皿町blog日記」に前日のことを書く。肉ジャガとご飯で昼食。仮眠、テレビをつけてうとうと。仕事場に下りて、ブレヒトについての纏めの文章に音楽のことを書き加えて、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のテープから場面の静止画をメモリースティックに取って、それをPowerBookG4に取り込んで、Wordで「場面集ファイル」を作る。4時過ぎて、途中で出掛けて、坂の下でタクシーを拾ってパークタワーへ。上原の下の通りから山手

通りを潜り、代々木八幡の小田急の踏切を左折して小田急に沿った道を行き、西参道に出るという裏道を行く。「IFF2005」のＪプロ「牛皮」を見る。同じ狭い画角の長回しのショットの積み重ねによる鞄職人の一家を描いた作品。練り胡麻で麺を食べるシーンが印象的だった。終わって、多摩美のほしのあきらさん、木村和代さん、卒業生の高田君と地下のうどん屋で食事。わたしは牛すき焼きうどん定食。続いてEプロ日本５「人はいない」を見る。映像演劇学科の大内伸吾君、高田寛之君、佐々木薫さん、原田史さんたちの、団地に住む人たちを描いた76分の卒制作品。終わって、大内君、高田君、同期の卒業生の竹内仁美さんと「さくら水産」でビールで乾杯。閉店までいろいろと話す。タクシーで帰宅。リンゴ、牛乳、柏餅で夕刊を読み、途中でやりかけだった「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の場面集のファイルを作ってから寝る。

13:40:05 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-06

「ブレヒトについての纏めの文章」を一応終える。

5日の朝トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には「ミ・エン・レーは、どんな料理女も国の政治を支配することができなければならない、といった。国家の変革と料理女の変革を、かれは同時に視野にいれていたのだ。ところで、ひとはそこから、国家を台所として、台所を国家としてととのえるのがいい、という教えをひきだすことができる。」と書いてあった。料理女かあ、と思った。ストレッチ体操の後、シャワー。仕事場でヒメジオンの花の写真をBlosxomBlogに入れて、メールの返事を書いて、蕎麦を茹でて、昼食。仮眠、テレビに「はぐれ刑事純情系」をつけてうとうと。仕事場に下りて、昨日のことを「灰皿町blog日記」に書く。検索で旧友の戸田桂太のblogを見つけたが2月26日で止まっている。それから、自転車でパルケに行って、肉じゃがの食材と南瓜、トマト、レタスなどなど買ってきて、ジャガイモの皮をむいて肉じゃがを煮る。ご飯を炊いて、シジミのみそ汁を作ってから、仕事場に下りて、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のビデオを台本と照らして見る。途中まで見て、８時前に夕食にしようと、疲れたといって早く帰ってきて寝ている麻理を起こすが、よく寝ていて起きないので一人肉じゃがとシジミのみそ汁で夕食。直ぐに仕事場に下りて、ビデオの続きを見る。主に歌っている箇所を押さえる。見終わったら11時を過ぎていて、居間に行ってリンゴ、牛乳、柏餅、サツマイモなど。麻理が起きてきて、シジミのみそ汁が美味しいので食欲が出てきたと、肉ジャガも食べる。また仕事場に下りて、メモした台本に当たりながらブレヒトについての纏めの文章に最終的に手を入れて一応書き上げた。それから、この「灰皿町blog日記」を書いた。

00:59:35 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-05

「ドキュメンタリー映画祭**Az**コンテスト**2005**」に行って話しをする。

　4日の朝トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」には、階級対立など様々な矛盾から社会が変革されるという史的唯物論的なことが書かれていた。ブレヒトは弁証法的唯物論を考えの根底に持っていたようだ。ストレッチ体操の後シャワー。仕事場に下りて、ジャスミンの花の写真をBlosxomBlogに入れる。それから、前日の「灰皿町blog日記」を書く。蕎麦を茹で、春菊の豆腐和えを作って麻理と昼食。ちょっと仮眠。「ブレヒトについての纏めの文章」に手を入れる。３時半過ぎて出掛けて、小田急で新宿へ、JR総武線に乗り換えて両国へ。江戸東京博物館の会議室で開かれている慶応大学の学生が中心となった「ドキュメンタリー映画祭Azコンテスト2005」に、参加作品の講評とドキュメンタリーの話しをするために参加した。参加作品の上映が終わって、6時から制作者たちの報告があって、質疑応答があった。結構観客から厳しい意見が出ていた。6時半から、家でビデオで見て置いた四

つの作品、いわき市のローカル新聞を扱った町村敬文作品「日々の新聞」、皇居を廻る駅伝大会で優勝を目指す入間東消防本部の駅伝チームを扱った町村敬文作品「25時間目の挑戦」、還暦を過ぎた人たちが作っている軟式野球チームを扱った金森誠・山本大輔作品「還暦野球」、世田谷の古い家で、そこに住むということだけで一緒に生活している人たちを扱った四方隆夫作品「静かな場所」について講評して、その講評の中で、わたしなりのドキュメンタリーについての話しをした。おおざっぱに言うと、4作品とも、自分の生き方を持っている人たち姿が描かれていて、現在生きているという共生感が漂っている、優しいカメラワークの作品だった。しかし、制作者とその人たちとの関わり方が、見えてこないところがあった。会場から「これらの作品で君たちは何が言いたいの？」という質問が出ていたが、制作たちからはっきりとした答えが出なかった。わたしは、彼らには、言いたいことというより、作ってみるということの方が先に来ていると思った。でも、そういうことであっても、対象となる人たちと関係が生まれ、これを見る人も、こういう人たちがいるということを知る、それがマスメディアではなく、ミニマルな関係の中で広まっていくのは大切なのではないかと話した。終わって、両国駅近くの「笑笑」という店でコンパとなった。同じテーブル来た学生たちは、慶応大学の藤沢キャンパスの学生たちで、その内二人はNHKに就職の内定が決まっていると言うことだったので、わたし自身が27、8年前に勤めていたNHKの職場の話しをした。まあ、炭酸水を飲み過ぎて胃や十二指腸を壊さないようにというようなこと。11時頃解散、両国駅で新宿までの切符を買ってしまったが、お茶の水止まりだったので、そこで下りて地下鉄千代田線に乗り換えて帰宅した。リンゴとサツマイモと煎餅を牛乳で食べて、メールなど見たが返事を書くには疲れていて、「灰皿町blog日記」も書かないで寝た。

15:55:56 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-04

「**IFF2005**」でかわなかのぶひろ・萩原朔美作品「映像書簡**10**」を見る。

3日の朝読んだ「転換の書　メ・ティ」には、「名辞さしかえの効用」という題で「二ーの将校たちが侵略戦争に反対していた一群の政治家を殺害したとき、新聞はかれらのことを行動派とよび、犯人とはよばなかった。行動派とは、つまり行動をこのむ連中のことである。そこで新聞は、その行動についてではなく、論じているだけと、さらに行動もするのとどちらがよいかについてひとが判断するように、しむけたのある。」と書いてあった。訳者の注として「1936年ごろの執筆と推定されるこの短文は、おそらく二・二六事件（1936）などにみられる日本の動向との関連で書かれたものと思われる。」とある。ブレヒトは当時亡命してヨーロッパを転々としていた。日本で起こった二・二六事件を知って、メディアの態度まで見抜いていたということだ。ストレッチ体操の後、シャワー。庭の君子蘭を立て直して写真に撮り、BlosxomBlogに入れる。それから、ブレヒトについての纏めの文章を「シアターＸ＝多摩美映像演劇学科共同創造・制作提携参加報告」として映像演劇学科に提出しようと思い、手直しする。蕎麦を茹でて麻理と昼食。ちょっと仮眠。3時頃仕事場に下りて、Azの町村敬文君のドキュメンタリー作品「25時間目の挑戦」を見る。4時過ぎになって出掛け、坂の下の社会教育館の前からタクシーを拾ってパークタワーホールへ。Ｑプロ「フィル・マロイ　アニメーション特集」を見る。終わって、石田尚志さん、金井勝さんと地下の蕎麦屋で食事。わたしはカツ丼。7時半からＤプロ「日本４」を見る。ロビーでかわなかさん、富山さんと言葉を交わす。かわなか・萩原作品「映像書簡10」は、かわなかさんが胃ガンの手術した経緯、萩原さんの老いて記憶があやしくなったお母さんとの対応で考えさせられるということが扱われていた。実験映画をリードしてきた二人の作品としてある種の感慨を持たされた。終わった後、萩原さん夫妻、木村和代さん、石田尚志さんと「さくら水産」に行き、ビール、酒で乾杯。後から、かわなかさんが知人やイメージフォーラム付属映像研究所の卒業生、造形大の卒業生など沢山の人を連れてくる。11時前に、萩原さん夫妻が帰るのを切っ掛けに、わたしは木村さんと退散してタク

シーで木村さんを渋谷駅前まで送り帰宅した。リンゴ、牛乳、サツマイモを口にして落ち着いてから、仕事場に下りて、見残していたAzのドキュメンタリー、四方隆夫作品「静かな場所」を見て、1時半近くなったので、灰皿町blog日記を書かずに寝た。

12:59:12 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-03

「**IFF2005**」の会場で会った鈴木余位君と話す。

2日の朝もトイレで「転換の書　メ・ティ」を読んだが思い出せない。焦げる匂いがしたので慌てて台所に行ったら、腐らないようにと火を入れていた煮豆とカレーが焦げていた。食べられないことはないが、焦げた匂いは着いてしまった。ストレッチ体操とシャワー。昨夜の雨で倒れた君子蘭を撮って、仕事場に下りて、Blosxomblogに入れる。ブレヒトについての纏めの文章に書き足す。カレーで麻理と昼食。２時前に家を出て、下の公園のところでタクシーを拾ってパークタワーホールへ。時間が早かったので地下の本屋で「心」についての本を探したが、買おうと思う本がない。ホールへ行って、２時半から「IFF2005」のＮプロ、ユフゲニー・ユヒット作品「二足歩行」を見る。４時頃終わって、文化服装学園の裏の代々木２丁目の住宅街を散歩して、JR代々木駅に出て、ガードを潜って、紀伊國屋書店へ。先ず、「f451_BBS」で渡辺洋さんが触れていた雑誌「Quick Japan」59号を探したら、58号はあったが59号はなかった。それから心理学の棚に行って、授業で「心」について話すのに参考になりそうな本を４冊と「中国の思想[5]墨子」を買って、高野へ行き紅茶ニルギリとアッサムを買う。それから、JRのガードを潜って小田急ハルクの裏を通って、OZONEシャッフルのバスに乗ってパークタワーに戻り、地下の「杵屋」で蕎麦と小鰻丼のセットの定食を食べて、その前のカフェテリヤでコーヒーを飲んで買ってきた心理学の本を読んでいると中島崇さんが来てちょっと会話。それから、Ｋプロのトリン・Ｔ・ミンハ＋ピエール・ブルディエ作品「夜のうつろい」を見る。坐った席の近くに鈴木余位君がいて、声を掛け、新宿駅まで話しながら歩き、地下の「アマーテ」でコーヒーを飲み、作品を作るように薦める。11時前、タクシーで帰るので、澁谷まで送って帰宅した。リンゴと牛乳と煎餅で夕刊を読み、その後、朝焦がした鍋を洗う。豆の焦げ糟はなかなか取れないので、一汗かいた。それから仕事場に下りて、灰皿町blog日記を書いた。

01:26:29 - **shirouyasu** - **3 comments**

2005-05-02

ブレヒトについての文章の最後のところを書く。

　5月1日の朝、トイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」の「不正への怒り」という項目に「自分にふりかかった私的な不正に怒りを覚えることのできないひとには、たたかうことはむずかしい。他人に加えられた不正に怒りを覚えることのできないひとには、偉大な秩序のためにたたかうことはできないでしょう。そしてその怒りは、きゅうにぱっと燃えあがる無意識ななものではなく、正しい手段を選ぶことのできる持続的なものでなくてはなりません。」と書いてあったが、これは、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の第4場でアンナ・フィアリングが怒りに燃えてねじ込んできた若い兵士に向かって言うセリフ「あんたは正しいよ、だけど、いつまで不正に腹を立てていられるかね？　一時間か、二時間ってところじゃないかな？　だけどこいつは一番だいじなところさ。もしあんたが、ある時はたと気づいてしまったら、『この世に不正はつき物だ』と。それが鉄格子の中だったりしてみな、これはもう目も当てられないよ。」と重なる。今朝は、紅茶のお湯を沸かす時、一緒に先日山中湖の忍野で買って来て、昨夜から煮汁に入れて置いた豆を煮始めた。ストレッチ体操とシャワーが終わった後も煮続けて、二時間半ぐらいで煮えた。仕事場に下りて、すっかり花弁が落ちてしまった牡丹の花の写真を

BlosxomBlogに入れて、ブレヒトについての纏めの文章の最後のところを書き始める。麻理がざる蕎麦とシュンギクの豆腐合えを作り、それに煮えた豆で昼食。食後、ベッドで仮眠。それから、麻理が買ってきた食材でカレーを作り始める。一応カレーが出来て、ご飯を電気釜で仕掛けて、仕事場で文章の続きを書いたが、終わらなかった。麻理が出掛けた後、7時過ぎに一人でカレーの夕食。食後、またベッドで、NHKアニメに続いて「義経」を見て、Ｎスペの「がん死亡率は下げられる〜早期発見・予防の国家戦略〜」を見た。癌検診が70%を越えるアメリカと20%に及ばない日本。それから、4日に行って話しをすることになっている「ドキュメンタリー制作会AzContest2005」で上映される作品の町村敬文作品「日々の新聞」と金森誠・山本大輔作品「還暦野球」を見た。それから、リンゴとサツマイモを食べ、牛乳を飲んでから、灰皿町blog日記を書いた。

01:21:41 - **shirouyasu** - **No comments**

2005-05-01

「**IFF2005**」２日目に行き、Ｈプロのドイツの特集と**A**プロの日本**1**を見る。

30日のトイレで読んだ「転換の書　メ・ティ」の「倫理学断罪」という項目に「労働者たちは、かれらの吸血鬼どもから、たえず道徳を説教されている。かれらは、説教をたれる者らからは道徳的なふるまいをうながされ、現実の諸関係からは道徳に反するふるまいをうながされる。かれらはしかし、抑圧者たちにたいするたたかいのなかで、全身の毛穴から噴き出る汗のように道徳を排出しているのだ。」という一文があった。JR西日本の福知山線の事故の運転手さんを始め、多くの労働者が置かれている状況が、この「道徳」のところに「サービス」とか「社命」とかを入れるとぴったりなのかな、と思えるところがある。トイレの後、ストレッチ体操を始める前に、先日津ヶ谷さんから送られて来た莢隠元とエンドウ豆を茹でる。体操が終わったら茹で上がった。日録をノートして、それから、蕎麦を茹でて盛り蕎麦にして、莢隠元を卵でまぶして、それに豌豆とカボチャの煮物で昼食。仮眠して、下着のシャツの長袖を戸棚に仕舞って、代わりに半袖を出す。ついでに、戸棚の中の胴回り合わなくなって穿けなくなっていた夏用のズボンを穿いてみると、痩せて胴回りが細くなったので、数本が穿けるようになった。買わなくて済む。4時に家を出て、小田急で新宿に出て、OZONEのシャッフルバスでパークタワーホールへ。Ｈプロ「特集：いつも、動いて３（感情のジェットコースター）ドイツ」の8作品を見る。入れ墨した人や身体に飾りや針を刺す人たちが出てくる作品で、最後にそういう人たちが「苦難の細道を行く」という歌を歌ったのがちょっとおもしろかった。終わって、多摩美の２年生の山田浩子さんと地下の「サボテン」でトンカツを一緒に食べながらいろいろ話しをする。彼女が阪下志野さんと作った「尾占兄弟」の制作の動機や二人の作業の様子を聞いたりした。7時過ぎ彼女は帰って、わたしはAプロ「日本１」を見る。万城目純さんの作品は生演奏付きだった。一般公募の大賞作品瀬戸口未来さんの「ははのははもまたそのははもその娘も」は生々しくインパクトのある映像が展開する作品だった。帰り、高速道路の下の横断歩道のところで、自動二輪に乗ろうとしているイメージフォーラム付属映像研究所の卒業生の岩本君に会い、６月の19日に同期生たちとイメージフォーラムで上映会をやるという話しを聞く。そこに多摩美の２年生の諸岡智子さんが友だちと通りかかって、新宿駅まで話しながら歩く。小田急で代々木上原下車で帰宅。帰宅して、シャワーを浴び、シャツを換え、リンゴとサツマイモを牛乳を飲みながら食べて、夕刊を読む。JR西日本では20メートルのオーバーランでボーナスから５万円引かれるなどという記事が書かれていた。それから仕事場に下りて、灰皿町blog日記を書いた。

00:24:49 - **shirouyasu** - **No comments**